

# 環境報告書 2024

## Environmental Report

### CONTENTS

- p.1 専務理事挨拶・北大生協の事業概要および環境マネジメント体制
- p.2-3 環境保全と環境負荷データ
- p.4 2023年度の主な取り組み

### 専務理事挨拶



北大生協  
専務理事 齋藤 真廣

北大生協は、2005年9月に北海道大学の環境方針が定められたことを受け、同年10月に「北大生協環境方針」を策定しました。それ以降、社会や大学の環境は大きく変化するため、時代に即した目標に改定することが必要だと考え、環境方針の改定を行うこととしました。2023年度通常総代会にて意見を集約し、環境委員会・定例理事会での複数回の議論を経て、2024年3月定例理事会において「北大生協環境方針改定」を議決いたしました。

たくさんのご意見をいただきありがとうございました。本改定では、環境方針を北大生協全体としての環境に対する指針として位置づけました。店舗での事業活動や各委員会での組織活動においても、この方針に沿って取り組むこととします。

この度の新しい環境方針の策定および、北大生協内外への共有・発信を通じて、北大生協の「環境」への考え方や活動のあり方を見つめ直して参ります。そして、すべての組合員・北海道大学・地域社会と協同し、持続可能な社会の実現に貢献していきたいと思っております。

### 北大生協の事業概要および環境マネジメント体制

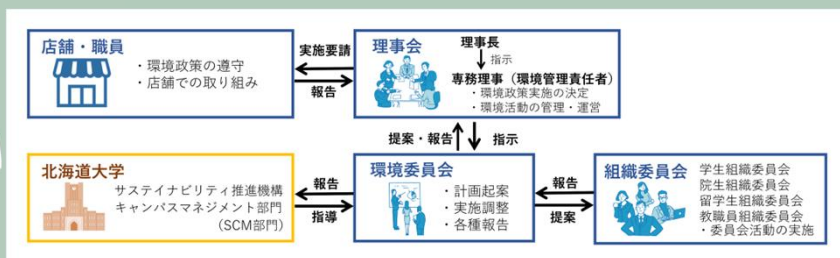
#### ◆北大生協の事業概要

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
組合員数（人）	26,152	25,636	24,740	25,234	25,115
出資金総額（千円）	392,587	391,086	383,651	393,789	392,986
供給高（千円）	4,143,040	2,839,044	2,872,322	2,989,513	2,937,391
経常剰余（千円）	▲33,865	▲223,922	▲38,177	11,918	▲14,282
正規職員数（人）	38	35	29	30	23
定時職員数（人）	220.8	124.9	115.3	129.0	142.0

※定時職員数は年間2,000時間をもって1名と換算しています。

部門	店舗
食堂	・北部・中央・クラーク・ポプラ ・工学部・農学部・医学部・水産
購買	・北部・生協会館・ポプラ・工学部 ・農学部・医学部・歯学部 ・薬学部・保健学科・文系SS ・理学部SS・水産・外売
書籍	・北部・クラーク・外売
サービス	・北部トラベル・印刷情報 ・キャリアサポート ・ルームガイド・住居管理 ・共済組合員センター

#### ◆北大生協の環境マネジメント体制



各店舗や組織委員会に対して環境対策の諸提案を行い、環境活動を実施するために、理事会の指示のもと、毎年度、環境委員会が設置されます。

この委員会は、北大生協の環境活動について北海道大学に報告し、指導を受ける窓口の役割も果たしています。

#### 北大生協環境方針（2005年10月理事会にて策定、2024年3月改定）

##### 【基本理念】

北海道大学生生活協同組合（以下、北大生協）は、北海道大学の福利厚生および学生・教職員の生活支援を担う事業者であり、かつキャンパスや社会の一構成者であることを自覚し、環境に配慮し、人と地球にやさしい事業の推進を図ることをここに宣言する。それは、この美しいキャンパスとかけがえのない地球を守るための環境負荷低減と環境保全活動に努めるとともに、大学の構成員である組合員の健康で快適な生活、充実した学習・研究・教育活動、安全と安心、誇りと生きがいを守りそして向上させるための新しい価値と環境を創造するという決意を示すものである。

北大生協を取り巻く大学や社会の情勢に対応するとともに、大学生協としての使命を果たしつつ、自然環境の保護や社会環境の創造を推進するための指針を明示することを目的にこの環境方針を確定する。北大生協は、この環境方針のもと、すべての組合員、北海道大学、その他ステークホルダーと結束し、率先して人と地球にやさしい事業の推進と、サステイナブルなキャンパスおよび社会の実現に努める。

##### 【基本方針】

1. 組合員の福利厚生および生活支援と、省エネルギー・省資源、資源の循環利用など環境負荷低減の取り組みの両立に努める。
2. キャンパスの独自性や構成員の多様性に対応し、美しい景観と憩いの場・交流の場を形成する。
3. 日常的な安全性や衛生状態を確保するとともに、気候や災害、感染症への対策を徹底する。
4. 環境に関する教育と情報発信を行うとともに、組合員の主体的な活動を推進する。
5. 環境関連の法令等を遵守し、大学や地域とのパートナーシップのもと活動を推進する。
6. 理念の実現に向けて、必要な体制や制度を設置し、定期的に検証・修正を行う。

# 環境保全と環境負荷データ

## エネルギー・マテリアルバランス〈2023年度：北大生協全体〉

### INPUT

一次エネルギー使用量	12,235	GJ
ガス使用量	196.6	千m <sup>3</sup>
電気使用量	1,016.4	千kWh
水道使用量	10.9	千m <sup>3</sup>
レジ袋利用枚数(4~11月期)	11,511	枚

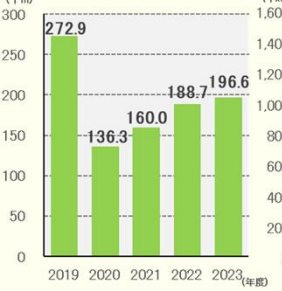
### OUTPUT

エネルギー使用に伴うCO <sub>2</sub> 排出量	995.4	t
排水量	11.9	千m <sup>3</sup>
廃棄物のうち		
一般廃棄物量	339.2	m <sup>3</sup>
産業廃棄物量	48.94	t

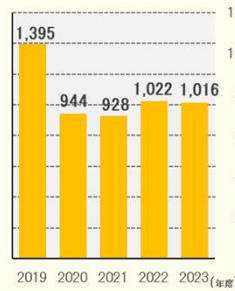
## エネルギー使用実績



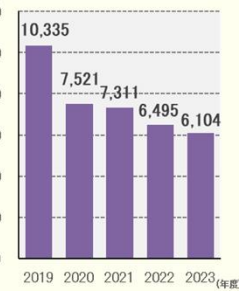
### ◆ガス使用量



### ◆電気使用量



### ◆ガソリン使用量

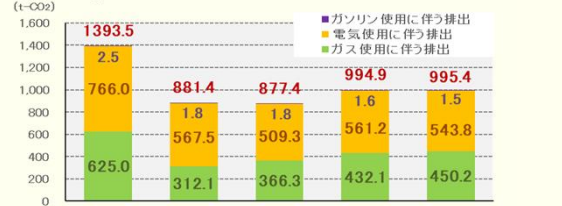


2020年度以降、新型コロナウイルス蔓延による店舗の休業・短縮営業のため、それ以前に比べ、一次エネルギー使用量やそれに伴うCO<sub>2</sub>排出量は小さい値となっています。しかしアフターコロナとなって店舗の営業時間も増加し、2022年度は前年度に比べ一次エネルギー使用量は増加、2023年度はほぼ2022年度並みとなりました。特に食堂の営業時間や利用客数は増加していますが、ガス使用量、CO<sub>2</sub>排出量の増加は前年並みに抑えています。

## ◆一次エネルギー使用量



## ◆CO<sub>2</sub>排出量

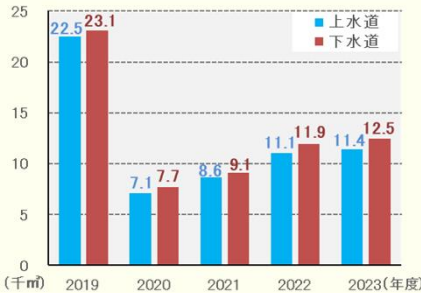


CO<sub>2</sub>排出量は以下の方法で算出した。  
 ガス：ガス使用量×CO<sub>2</sub>排出係数2.29[kg-CO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>]  
 ガソリン：ガソリン使用量×CO<sub>2</sub>排出係数2.32[kg-CO<sub>2</sub>/L]  
 電気：電気使用量×電気事業者の公表するCO<sub>2</sub>排出係数\*1(調整後)[t-CO<sub>2</sub>/kWh]  
 \*1 2023年度の排出係数は0.535

## 水道使用・排水



### ◆水道使用量・排水量



### ◆食堂のグリストラップ



水道使用量や排水量についても、2020年以降、新型コロナウイルス蔓延による店舗の休業・短縮営業のため、小さい値となっていました。水道使用量や排水量の値は、調理や洗浄のために多くの水を使用する食堂の営業時間・利用客数に特に影響を受けやすいと考えられます。

アフターコロナにより、食堂の営業時間や利用客数が増加していますが、2023年度はほぼ前年並みに抑えられています。

なお、食堂では、厨房などの排水に含まれる油脂を捕集・分解するグリストラップを設置しています。グリストラップは週に1回以上清掃を行うほか、排水中の油分の確認などの水質検査を年に1回実施しています。

## レジ袋使用量・辞退率



### ◆各年度のレジ袋利用枚数・辞退率(購買・書籍両部門の合計)

年度	2019	2020	2021	2022	2023
集計期間*2	2019年6月～2020年3月	2020年4月～2021年3月	2021年4月～2022年3月	2022年4月～2022年11月	2023年4月～2024年3月
レジ袋利用枚数(枚)	32,130	14,003	13,401	11,511	11,472
辞退率(%)*3	97.2	96.8	96.6	97.6	97.8

\*2 2019年度は6月からレジ袋の有料化を行ったため、それ以降のレジ袋利用枚数が集計された。2022年度はレジのシステム更新により12月のデータを得られていない。

\*3 辞退率(%)=(店舗利用者数-レジ袋利用枚数)/レジ袋利用枚数×100

北大生協では、プラスチック資源の節約や循環への社会的意識の高まりに合わせて、2019年6月より各店舗でのレジ袋を有料化しました。それ以降、北大生協全体でのレジ袋辞退率は96～97%台を維持しています。

有料化以前では最高で年間91.1万枚のレジ袋が利用されていたため、そのときと比較すると現在の利用枚数は約98%減少し、CO<sub>2</sub>換算すると年間54.9t(\*4)の削減を実現しています。

### ◆各年度のレジ袋利用枚数・辞退率

2019～2023年度におけるレジ袋利用枚数と辞退率の経年変化をグラフに示した。

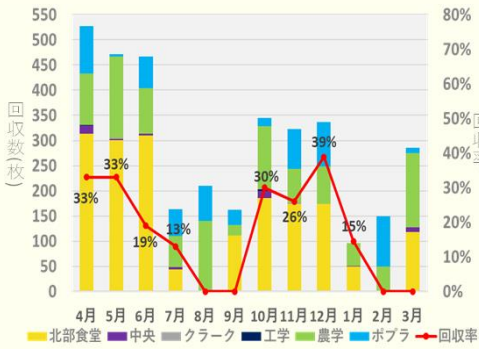


\*4 レジ袋1枚あたり、約61g(製造時に30g、焼却時に31g)のCO<sub>2</sub>が排出される。[省エネルギーセンターより]

# リ・リパック回収



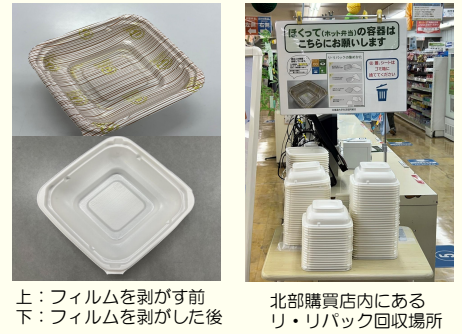
## ◆リ・リパック回収枚数と回収率〈2023年度〉(\*5)



北大生協の食堂では2019年度以降、テイクアウトの利用者に対し、リサイクル可能な容器であるリ・リパックにカレーライスや丼メニューを入れて提供しています。そして、2022年2月より使用済みのリ・リパックの回収を本格化し、現在では、使用されるリ・リパックの約4割を回収し、資源循環に貢献しています。

\*5 回収率(%) = リ・リパック回収数/テイクアウト件数×100  
 レジのシステム変更により、2022年12月以降はテイクアウト件数が記録されず、回収率が算出できません。

## ◆リ・リパックと回収場所



上：フィルムを剥がす前  
 下：フィルムを剥がした後  
 北部購買店内にあるリ・リパック回収場所

# 割り箸



北大生協では、森林育成に協力し、環境保護を促進するための取り組みの一環として、2002年から国産間伐材使用の「樹恩割り箸」を、2006年7月からは北海道内の下川製箸(株)の「FSC認証元禄箸」を食堂・購買で利用してきました。下川製箸(株)にはこれまで価格を据え置く形で製造・供給に尽力いただきましたが、2022年4月下旬に工場が焼失し事業中止となったため、現在は再度、樹恩割り箸を利用しています。

## ◆間伐材使用の割り箸



左:樹恩割り箸(樹恩ネットワークホームページより)  
 右:FSC認証元禄箸(下川製箸(株)ホームページより)

# 古紙回収



北大生協では、各店舗における事業によって生じた古紙(書類・新聞・雑誌・段ボール等)や、組合員が店舗に持参した古紙を回収し、業者に委託し、再資源化を図っています。

2023年度の回収量は北大生協全体で33.3tでした。コロナ禍以前は例年、70t以上の古紙が回収されていましたが、近年では書類の電子化や紙資源の節約が進み、回収量が少なくなっています。

## ◆古紙回収の様子



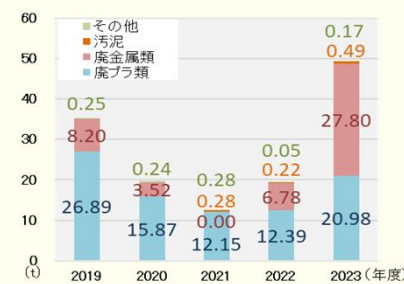
# 廃棄物



## ◆一般廃棄物の排出量



## ◆産業廃棄物の排出量



廃棄物は、上記表のように大きく一般廃棄物と産業廃棄物に分類されます。一般廃棄物のうち、資源ごみは高温・高压で固化し固形燃料にすることで再資源化されています。

2023年度は一般廃棄物に占める資源ごみの重量の割合(再資源化率)は50.0%であり、2022年度とほぼ同様でした。一般廃棄物のうちおよそ半分が再資源化されています。また、再資源化率はここ3年ほど50%前後で推移しています。

## ◆北大生協における廃棄物の分類

ごみの内訳	分類
食品残渣	生ごみ
プラスチック容器/包装・発泡スチロール	資源ごみ
紙ごみ(主に紙片など)	資源ごみ
汚れた紙ごみ	一般ごみ
木片(割り箸・へら・楊枝など)	一般ごみ
ゴム・ビニール・布・皮革	一般ごみ
紙・新聞・雑誌・段ボール	古紙
ビン・缶・ペットボトル	ビン・缶・ペットボトル
大型プラスチック・プラスチック製品	産業廃棄物(廃プラスチック)
金属・金属製品	産業廃棄物(廃金属類)
ガラス・陶磁器・蛍光管	産業廃棄物(その他)
乾電池	産業廃棄物(その他)
草・枯れ葉・枝	産業廃棄物(その他)
家電・家具	産業廃棄物(その他)

## 組合員の皆さまへ

引き続き北大生協の環境に関する取り組みへのご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### ○レジ袋使用量の削減

購買や書籍でお買い物の際は、マイバッグをご持参いただくなど、レジ袋の節約へご協力ください。

### ○使用済みリ・リパックの回収

食堂でテイクアウトや購買での内製弁当をご利用の際、使用済みのリ・リパックはフィルムを剥がして食堂等の回収場所へお持ちください。

### ○資源回収・リサイクル

北大生協では、資源回収を行っています。ご家庭でご不用のものがありましたら、ぜひお持ちください。

- ・不要自転車 …北大生協会館1階サービスカウンター
- ・牛乳パック・古新聞 …北部店2階



リ・リパック回収用ポスター



レジ袋有料化告知ポスター

# 2023年度の主な取り組み

## 「北大生協環境方針」の改訂

「北大生協環境方針」は2005年に初めて制定しました。それ以降、北海道大学や社会では種々の法律、計画、制度、方針、目標などの新設・改訂がされましたが、北大生協の環境方針はこれまで改訂されておりました。  
そこで、環境委員会・生協理事会で環境方針の改訂を検討いたしました。その後、2023年度通常総代会にて素案に対する意見を集約し、さらに北大生協内部で議論を進めて参りました。そして、2024年度3月の生協理事会にて、環境方針を正式に改訂しました(表紙参照)。

### フードバンク



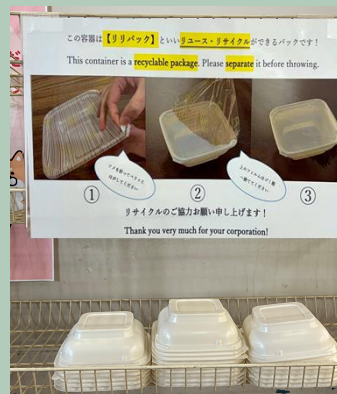
フードバンク活動を行っている学生ボランティア団体「Hokudai Food Bank」からの協力要請を受け、北大生協で発生するフードロス削減にもつながるため、廃棄予定の食品の提供を行っています。購買で売れ残ったおにぎりやパンなどを市内の児童会館へ無償で提供しています。

### リ・リパック回収に関する取り組み



各食堂に出される使用済みのリ・リパックの回収は2022年度から開始しました。リ・リパックは汚れたフィルム部を取り除いて、大部分をリサイクルできる環境にやさしい容器です。回収と集計は環境委員会の学生メンバーを中心に行っています。

4月の履修相談会後に行われたMANAVI生活編の際に、北部食堂でリ・リパックの回収方法を実際にレクチャーしたり、食堂や購買にリ・リパックの回収場所を設けてポスターで回収を呼びかけることを行っています。



北部食堂に設置しているリ・リパック回収場所。英語を併記し、留学生にも回収を呼び掛けている。

## 総代会でいただいたご意見

【環境報告書】一般廃棄物の排出量が抑えられている点、レジ袋の辞退率が高水準を保持している点は良い。大学構内でよく目にする節電ポスターはわかりやすい。これを貼る前と後でどのような変化があったのかを知りたい。電力消費量がコロナ禍明けから徐々に増加しているの、なるべく抑えられると良いと思う。



【回答】レジ袋は平均96~97%の辞退率で、組合員の皆様のご協力でこの水準を保っていきたいと考えています。節電ポスターの貼る前と後での変化については、データとして持ち合わせておりませんでした。電力消費量はコロナ禍明けからキャンパスに人が戻り、食堂や購買の客数や営業時間が伸びたことにより徐々に増加しています。無駄な電気などを使わないようにし、出来るだけ消費量の増加を抑えるよう努めてまいります。

【リ・リパック回収】回収率が4割程度なのは少ない。この程度で環境に貢献したと言えないのでは。今後回収口を増設し(北部食堂以外の内製弁当を食べる学部内等)、回収率を上げる工夫をするべき。また、リ・リパックのコストは他容器と比べてどうなのか知りたい。



【回答】回収率をもっと上げていきたいと考えています。回収場所を増やすことも含めて、どうしたら回収率を上げていけるのか、今後環境委員会でも議論していきます。リ・リパックのコストはリサイクル可能なつくりのため最安値ではありませんが、全国で採用している大学生協は多く、コストをなるべく低く抑えています。

その他沢山のご意見を頂きました。いただいたご意見については、今後北大生協で検討してまいります。

### 環境報告書2024

発行 北海道大学生協同組合  
発行年月 2024年8月  
編集 北大生協理事会  
北大生協環境委員会  
対象期間 2023年4月~2024年3月

環境報告書2024をご覧いただきありがとうございます。お読みになってご意見・ご感想等ございましたら、下記の連絡先までお送りください。今後のより良い取り組みの実現や次年度以降の環境報告書の制作に向けて、ご協力をお願いいたします。

送付先: seikyou@coop.hokudai.ac.jp

- 住所 〒060-0808 札幌市北区北8条西7丁目1-1
- TEL 011-746-6218
- E-mail seikyou@coop.hokudai.ac.jp
- 公式LINEアカウント
- ホームページ <https://www.hokkaido-univcoop.jp/hokudai/> (下記QRコードからも閲覧できます)
- 環境委員会 [https://www.hokkaido-univcoop.jp/hokudai/univcoop/suishin\\_iinkai/](https://www.hokkaido-univcoop.jp/hokudai/univcoop/suishin_iinkai/)
- 学生委員会 <https://hokudai-coop-gi.com/>
- 院生委員会 <https://www.hokkaido-univcoop.jp/hokudai/insei/>
- 機関誌 Letter (学生委員会)  
ほんでないかい (院生委員会)  
きぼうの虹 (教職員委員会)
- X (旧Twitter) 北大生協 @HU\_COOP\_KK  
学生委員会 @HU\_COOP\_GI\_CS  
院生委員会 @Hokudainsei\_coo



<https://lin.ee/h4bu2Ur>



北大生協ホームページ

北大生協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。